

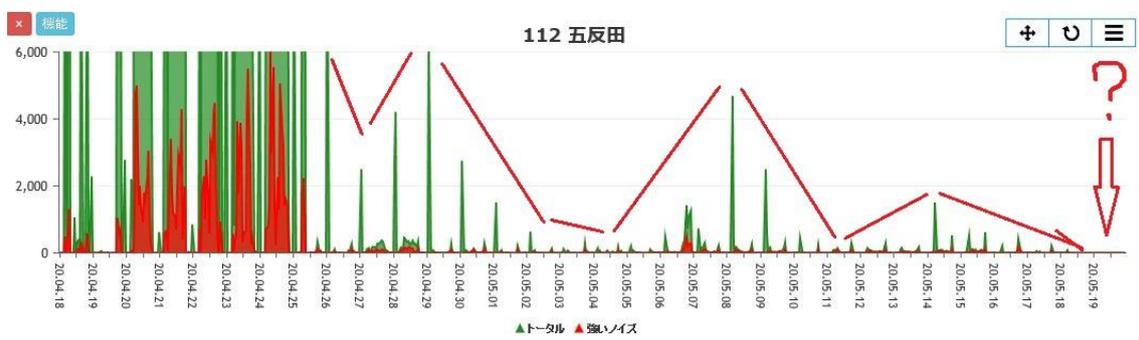
200518 関東~中部の収束状況について

2020年5月15日(金曜日)の段階で、数年に渡る長期に続いた五反田のデータが 急な収束を迎えおり関東、中部東海地方は 長野の群発などもあってここ数日は要警戒と考えましたが その後5月18日(月曜日)現在、大きな地震は起きていません。

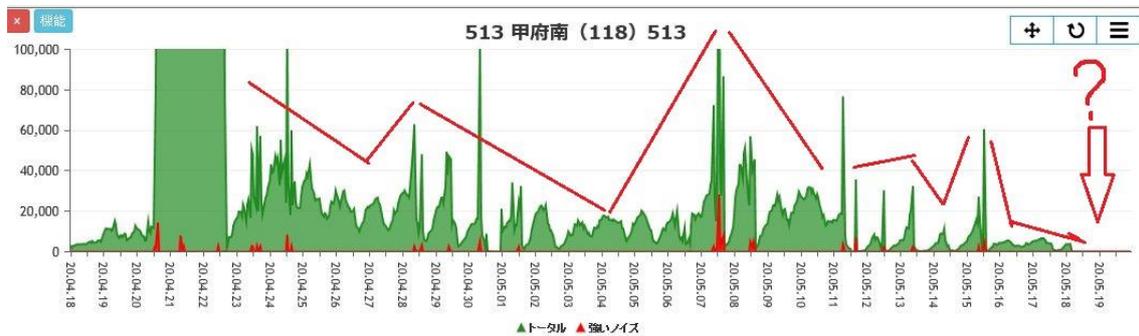
しかし五反田の長期データの収束は続いており 甲府、伊勢 E481 も反発することなく収束に向かっています。

五反田の このような長期のデータが収束するのは 2016年の熊本地震の前兆としての高知 B449 のデータの例がありますが 熊本地震は前震が M6.3 と2日後に M7.0 の本震が発生し、大きな被害になったことから しばらくは要警戒と考えます。

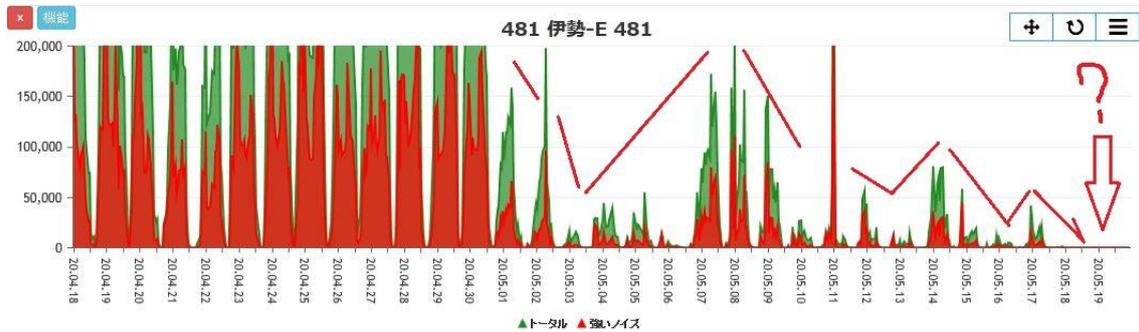
五反田 30日データ



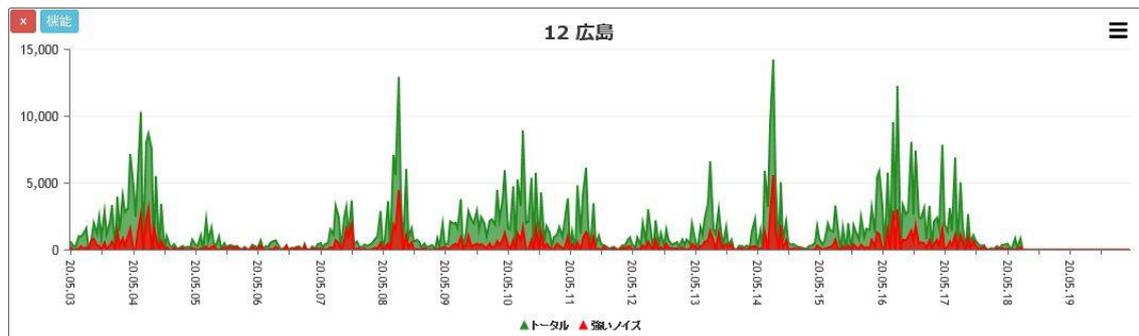
甲府 30日データ



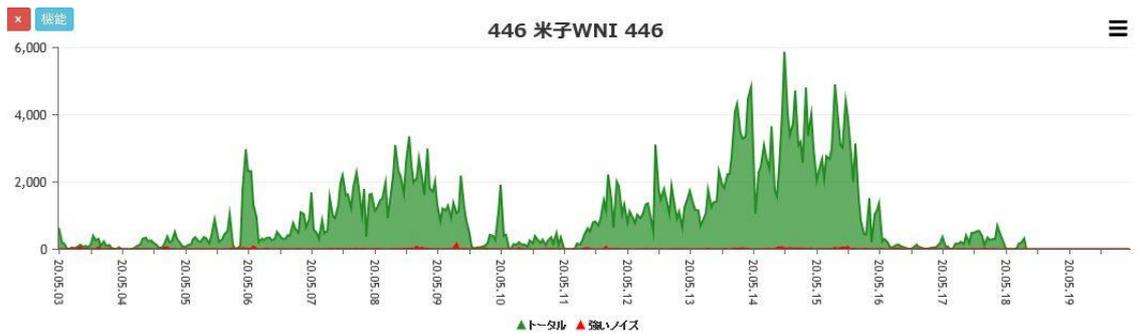
伊勢 E481 30日データ



その他 広島 15 日データ



米子 15 日データ



位置関係



考察：以上のデータから 以下のように考えます (5月18日月曜日現在)

地震の規模 M6 超

震源の場所

内陸の場合：岐阜長野、静岡、神奈川

海側の場合：熊野灘 (三重県沖)、遠州灘 (愛知県、静岡県沖)

発生日 5月18日より3日間